

保険金区分(補償額)の参考数値について

保険契約者が被災者等に対して使用者賠償責任を被った場合など、不測の事態にも対応できる保険金区分をご検討ください。

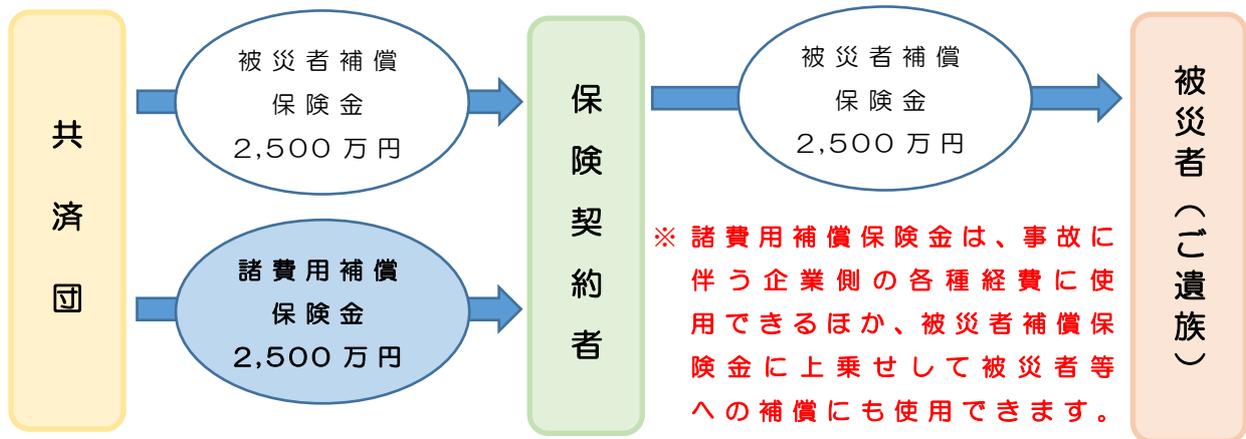
**建設共済保険の保険金支払いにおいて、災害発生時に
関係請負事業所から被災者1人あたりに支払われた金額
は、平均で 2,710万円 となっています。**

【平成25年度～令和4年度 建設共済保険金支払い調べ】

○建設共済保険の保険金の特長

建設共済保険の保険金は『被災者補償保険金』と『諸費用補償保険金』で構成され、諸費用補償保険金は被災者等に対する追加的補償はもちろんのこと、労働災害に基因して保険契約者が負担する諸費用を最大2,500万円まで補償します。

〔死亡災害発生時の保険金支払いの流れ
保険金区分合計 5,000万円 で加入〕



○保険金区分合計表

保険金区分合計		5,000万円	4,000万円	3,000万円	2,000万円	1,000万円
(被災者補償保険金)		(2,500万円)	(2,000万円)	(1,500万円)	(1,000万円)	(500万円)
(諸費用補償保険金)		(2,500万円)	(2,000万円)	(1,500万円)	(1,000万円)	(500万円)
保険金の種類	死亡保険金					
	障害保険金 (障害1, 2, 3級)	5,000万円	4,000万円	3,000万円	2,000万円	1,000万円
	傷病保険金 (傷病1, 2, 3級)					
	障害保険金 (障害4, 5級)	4,000万円	3,200万円	2,400万円	1,600万円	800万円
	障害保険金 (障害6, 7級)	3,000万円	2,400万円	1,800万円	1,200万円	600万円

※ 保険金区分については、契約時はもちろんのこと契約期間の途中でも増額することができます。